

第12回三重県高校生介護技術コンテスト

朝明高等学校 優秀賞受賞

東海大会出場！！

中日新聞 三重県版 2026.7.25

四日市 県内7校 介護技術競う

最優秀賞は明野高



県内で福祉を学ぶ高校生が介護技術を競うコンテストが23日、四日市市の朝明高校で開かれた。県高校福祉教育研究会が主催し、今年で12回目。7校がそれぞれ3人一組で出場した。

この日は要介護者である85歳の男性がトイレから出てこない状況を想定。男性は認知症と過去の脳梗塞による右半身まひを患っており、出場者は7分間でベッドを大事にした」と話した。教員や福祉関係者が審査し、最優秀賞には明野高（伊勢市）、優秀賞には朝

ドに移動し休んでもらうまでを演じた。

生徒たちは男性の症状や性格に合わせて介助や声かけを工夫。まひしていない左足を自分で動かしてもらったり、認知症であることから「今日は何日でしたっけ？」と問いかけたりした。朝明高3年の川村美友里さん(17)は「一つ一つの動作について相手に確認し、自分の意思で決めてもらうこと

明高が選ばれた。両校は8月に静岡県で開かれる東海地区大会に出場する。

(竹内暁希人)

ベッドへ向かう利用者役(右から2人目)を手助けする生徒＝四日市市の朝明高で